

令和5年度（令和4年度事業）
教育委員会に関する事務の
点検・評価報告書

令和5年8月
周防大島町教育委員会

目 次

◆ はじめに	1
◆ 学校教育	2
1 確かな学力の定着と向上	3
2 豊かな心と健やかな体の育成	5
3 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進	6
◆ 社会教育	9
1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進	10
2 地域教育力活性化の推進	17
3 人権教育の推進	19
4 スポーツの振興	23
◆ 総務	27
1 森野小学校と城山小学校の統合に向けた対応	28
2 学校施設等の整備・拡充	29
3 周防大島町語学留学生派遣事業	29
4 新型コロナウイルス感染症への対応	30

【はじめに】

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 20 年 4 月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政を推進し、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、議会に提出するとともに、公表することとなっております。

そこで、今年度の報告書を公表します。

2 点検・評価の対象・期間

点検評価の対象は、令和 4 年度の周防大島町の基本方針(学校教育・社会教育)に基づく施策と学校環境整備の主な事業を対象としました。

点検評価の対象期間は、令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月までの事業です。

3 点検・評価の方法

点検・評価対象とした重点施策は昨年と同様としており、次のとおり 5 段階の総合評価(自己評価)を設定しました。

- ① 計画どおり
- ② 概ね計画どおり
- ③ 具体的改善策が必要
- ④ 全般にわたり要検討
- ⑤ 新型コロナウイルスの影響により評価できない

4 まとめ

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価については、例年どおりとしております。

評価の手法等について、今後更に効果的な教育行政を推進し、町民への教育行政評価の客観性・透明性を図り、的確な評価に向け取り組みを改善してまいります。

学 校 教 育

【学校教育課】

少子高齢化の進展やデジタルを活用した情報社会の到来が叫ばれる中、子どもたちが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せを感じられるものとなるための精神的豊かさを重視した教育の在り方が求められている。

このような中、未来の周防大島町を担う子どもたちが、自然や文化に親しみ心豊かでたくましく育つためには、家庭や地域と学校との連携を強め、全ての子どもたちの成長を支える仕組みづくりを推進し、子どもたちの生きる力(※)の育成を図っていく必要がある。

※ 本町では生きる力を、「自立」・「協働」・「創造」の3つの視点から捉えることとしている。

そこで、主に次の3点を重視し、取組を推し進める。

- 1 教職員のマネジメント能力の向上を図るための研修を推進する。
- 2 地域の教育資源を活用した教育活動の質の向上を図る。
- 3 コミュニティ・スクールを核とした地域総がかりの取組を充実する。

1 確かな学力の定着と向上

- 学校の組織力の強化
 - －全校体制によるカリキュラム・マネジメント、きめ細かな少人数指導体制
- 「わかる授業」「楽しい授業」を実現する教員の授業力の向上
 - －ICTの効果的な活用、研修の確保
- 体験活動の充実
 - －企業や専門家等と連携した企画活動
- 校種間連携による教育の充実
 - －英語教育、KS学習（拡大集合学習）、小中連携教育、中高一貫教育
- 学校・家庭・地域の連携力の強化
 - －学校運営協議会「ユニット型研修」、学習習慣や生活習慣の確立
- 教育環境の整備
 - －特別支援教育支援員と特別支援教育コーディネーターの配置、各種助成事業

<p>◆ICT機器を効果的に活用した子どもが主体的に学ぶ魅力ある授業実践の推進</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・一人1台端末の整備完了後の、端末の持ち帰りによる家庭学習の充実やオンライン授業の実現のため、セキュリティ強化やICTの環境整備を行った。結果、家庭学習機会の増加、授業での学びの深まりや個別学習への対応、児童会・生徒会活動等における主体性や企画力の向上につながっている。</p> <p>【課題】</p> <p>・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を目指し、環境整備と授業力向上を図り、情報教育の一層の充実を図っていく。</p>
<p>◆英語コミュニケーション能力の高い児童生徒の育成</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・グローバル教育推進事業の実施が、小学校低学年からの外国語に慣れ親しみ、良好な人間関係づくりに役立っている。</p> <p>・外国語指導助手（ALT）や国際交流支援員の継続配置が、国際交流や国際理解教育の推進につながっている。</p> <p>【課題】</p> <p>・地域や小中高大学との連携を図り、ふれあいの機会を増やすとともに、系統立てた外国語教育の推進を図っていく。</p>

<p>◆KS学習（拡大集合学習）や小中連携教育、中高一貫教育等の教育活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KS学習では、他校の友だちと集団の中で交流することで、考えを深めることができた。また、教員同士の連携や授業力の向上につながっている。 ・小中連携教育では、合同の授業研究をとおして、授業改善や小中9年間を意識した取組がなされている。 ・中高一貫教育では、高校生との交流や高校教諭による授業により、進学意欲を喚起する貴重な機会となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携強化のため、小中高の連携カリキュラムの編成に向けた研修を充実させたい。 ・連携の充実に向け、ICT機器の効果的な活用について、環境整備や教職員研修を継続したい。
<p>◆特別支援教育充実のための、校内体制の構築と、支援員の配置等による個に応じた指導の充実</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内コーディネーターを中心に各校の研修が進み、児童生徒の特性を理解し、支援員も含めて適切な支援が実現している。また、地域コーディネーターの巡回訪問による専門的な立場からの指導により、特別支援教育の推進体制も充実している。 ・通常学級に在籍する発達障害等、個別の支援が必要な児童生徒や、特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や日常生活を支援するために、11校に30人の支援員を配置した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期からの切れ目のない支援体制や、保護者を巻き込んだ支援体制の充実を図っていきたい。
<p>◆検定助成による児童生徒の主体的に学習に取り組む意欲の向上</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定助成 <ul style="list-style-type: none"> 小学校5・6年対象 漢字・算数検定 中学生対象 英語・漢字・数学検定 ・令和4年度中の検定受検率（検定受検率の向上） <ul style="list-style-type: none"> 小学校 漢字83%、算数84% 中学校 漢字41%、数学34%、英語46% ・合格率 <ul style="list-style-type: none"> 漢字 8級100%、7級60%、6級75%、5級86%、4級36%、3級62%、準2級50%、2級67% 数学 8級83%、7級58%、6級77%、5級50%、4級73%、3級67% 英語 6級50%、5級77%、4級75%、3級63%、準2級27%、2級0% <p>検定受検率は、小学校では、例年高い水準にある。中学校でも、伸びを示し、学びに向かう姿勢の変容が見られる。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で事前・事後の指導の充実を図り、児童生徒の学習意欲の向上につながる取組を進めるとともに、継続したデータを収集し、目的を明確にして取り組むことができるようにする。 ・英語検定を小学生に広げ、意欲の向上につなげたい。

2 豊かな心と健やかな体の育成

- 開発的・予防的な生徒指導や相談体制の充実
 - －「いじめ対策委員会」を核とした取組、早期対応の重視
- 人権尊重意識を高め、一人ひとりを大切にする人権教育の推進
 - －安全で安心な環境づくり、信頼関係の構築、主体性を育む授業実践
- 心を耕す教育の実践
 - －道徳教育の充実と道徳科の授業づくり、学校図書館の充実や読書機会の確保
- 体力向上に向けた組織的な取組の推進
 - －日常的な運動機会の確保、食育等の計画的な健康教育
- 教育環境の整備
 - －読書活動推進員、部活動指導員の配置、SCやSSWの派遣

<p>◆いじめや不登校を未然に防ぐための、開発的・予防的な生徒指導や相談体制の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSWや専門機関との連携を強化し、個別の支援が必要な児童生徒やその保護者、教職員への支援が充実した。 ・「あろは教室」（適応指導教室）に登校した児童生徒への適切な指導や継続的な来室相談により、学校復帰者が増えた。 ・保小、小中連携のもと、校種間の情報交換が行われている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あろは教室」への来室者数や支援要望の増加に対応した、指導員の人材確保に努める。 									
<p>◆人権教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」に基づき、年間計画の見直しを図り、学校や地域の実情や児童生徒の実態を踏まえた取組が進められた。 ・新型コロナウイルス感染症や情報モラルに係る人権への配慮についての指導にも取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の尊重を基本として、学校が、児童生徒にとって安心して、楽しく学ぶことのできる環境となるよう体系的・計画的に人権教育についての研修を進めていきたい。 									
<p>◆基本的な倫理観や社会性、規範意識などを育む、道徳教育の充実と道徳の授業づくり</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な道徳科の授業実践により、児童生徒の道徳的実践力の育成が推進されている。 <p>※「人が困っているときは、進んで助けている」</p> <table border="1" data-bbox="651 1709 1198 1827"> <tbody> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>92.2%</td> <td>79.0%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>85.3%</td> <td>86.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の取組をさらに充実させるために、評価やカリキュラム等の研究を進めていきたい。 ・倫理観や規範意識等の醸成のため、学校運営協議会での熟議など、学校や家庭・地域が連携した取組の一層の推進を図る。 		小学校	中学校	R3	92.2%	79.0%	R4	85.3%	86.2%
	小学校	中学校								
R3	92.2%	79.0%								
R4	85.3%	86.2%								

<p>◆児童生徒の健康状態等の把握と健康教育についての意図的・計画的な取組</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内児童生徒の健康面に関する情報をまとめた『周防大島町児童生徒健康・体力誌』を作成し、傾向と課題を分析し、具体的な取組をしている。 ・全小中学校で「体力向上プラン」の見直しを行い、1校1取組（重点的取組）をすすめ、持久力や調整力等を高めることができた。 <p>※体力合計点全国平均との比較 ※ ポイント差</p> <table border="1" data-bbox="635 521 1326 752"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">中2</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>-2.1</td> <td>-0.5</td> <td>-0.7</td> <td>-0.1</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="4">感染症対策のため体力テスト中止</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>+2.6</td> <td>+1.6</td> <td>+2.2</td> <td>-0.8</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-1.8</td> <td>+0.9</td> <td>-5.5</td> <td>-3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会や福祉部局と連携した、生活習慣病の予防や健康な身体づくり、体力向上の取組を継続していく。 ・新型コロナ対策や家庭内ゲーム時間の増加によって、運動機会が減少し体力低下が危惧されている。対策を考えたい。 		小5		中2		男子	女子	男子	女子	R1	-2.1	-0.5	-0.7	-0.1	R2	感染症対策のため体力テスト中止				R3	+2.6	+1.6	+2.2	-0.8	R4	-1.8	+0.9	-5.5	-3.2
	小5		中2																											
	男子	女子	男子	女子																										
R1	-2.1	-0.5	-0.7	-0.1																										
R2	感染症対策のため体力テスト中止																													
R3	+2.6	+1.6	+2.2	-0.8																										
R4	-1.8	+0.9	-5.5	-3.2																										
<p>◆体育授業の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業を積極的に行い、児童生徒が目標をもって体育授業や体力づくりに取り組んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師招聘や部活動改革を進める中で、学校体育の充実を図っていく。 																													

3 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進

- コミュニティ・スクールの仕組みを生かした連携体制の構築・強化
 - －「学校・地域連携カリキュラム」の検証改善、「学校・地域の課題」や「地域づくり」に関する熟議
- 地域と連携・協働する活動の推進
 - －子どもの学校運営協議会への主体的な参画と協働活動
- 学校安全の質と水準の向上
 - －生活安全・交通安全・災害安全の取組、通学路の安全点検、専門家と連携した取組

<p>◆ふるさとに誇りがもてる子どもの育成に向けた地域連携教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の宮本常一の写真を調べるコンクールから、周防大島を題材とした探究活動をテーマとした募集要項にしたことで、周防大島町の産業や歴史に目を向けた作品や、自分の家や生業の歴史などの作品もあり、ふるさとへの感心の高まりを感じることができた。
--	--

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科や総合的な学習の時間など教育課程に位置付けた活動や学年単位の活動となるよう、カリキュラムの編成を行う。 ・コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、児童生徒が、学校や地域像を語るができる機会を増やしたい。 															
<p>◆学校と家庭・地域が連携したキャリア教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内小学校4年生が、将来の夢や目標を発表する「二分の一成人式」をオンラインで実施し、児童の主体的な取組が見られた。中学校も「立志式」を実施し、夢を志に進化させる教育を推進している。 ・小学校では、学習支援ボランティアや見守りボランティアの人たちとの日常的な交流など工夫した取組がされた。中学校の職場体験でも、地元企業の協力をいただき、充実した活動ができています。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭、地域、産業界等が連携したキャリア教育を推進し、ボランティア活動などの教育活動を充実したい。 															
<p>◆主体的に読書に親しみ学んでいこうとする心の育成</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を積極的に推進するために、図書紹介コーナーの設置や読書カードの活用、読書通帳等、各小中学校で工夫した取組を行っている。 ・地域の読み聞かせの会や読書活動推進員の配置（11名）等により、朝の読書活動や家庭での読書等、読書習慣が身に付いてきている。 <p>※「30分以上読書する」と答えた割合（小6、中3対象調査）</p> <table border="1" data-bbox="708 1220 1257 1413"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>37.3%</td> <td>27.6%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="2">調査中止</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>33.8%</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>25.0%</td> <td>39.7%</td> </tr> </table> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の興味や関心にそった読書支援を行うために、読書活動推進員等による図書室整備を継続する。 ・読書習慣の定着のため、家庭での読書の普及啓発を進める。 		小学校	中学校	R1	37.3%	27.6%	R2	調査中止		R3	33.8%	31.5%	R4	25.0%	39.7%
	小学校	中学校														
R1	37.3%	27.6%														
R2	調査中止															
R3	33.8%	31.5%														
R4	25.0%	39.7%														
<p>◆地域と連携した防災教育の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの見直しを行い、防犯、交通、災害の研修や訓練を重ねて、学校の危機対応能力の強化を図っている。 ・学校単独ではなく、保小、小中合同や地域と連携した避難訓練を実施するなど工夫が見られた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の主体的な安全活動をとおして、安全に関する資質能力の向上を図る。 ・コミュニティ・スクールの協働体制を生かして、地域ぐるみの学校安全の取組の推進を図る。 															

<p>◆「地域人材の力」を生かした学校経営</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や行事等を教育課程に位置付け、地域の人材等を有効に活用して、体験活動や行事等を行っている。 ・各学校とも、学校便りや学校ホームページ等とおして、学校の取組や様子について情報提供をしている。また、東和総合センター大ホール入口に掲示板を設け、小中学校並びに周防大島高校の学校便り、田布施総合支援学校のコミスクだよりを掲示し情報発信に努めている。 ・コミュニティ・スクールの機能を活用し、地域や保護者の声を学校経営に生かそうとしている。
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと、もの、こと」を生かした学校・地域連携カリキュラムを作成し、家庭や地域の教育力を結集した学校づくりに努める。

社 会 教 育

【社会教育課】

価値観の多様化、社会状況の大きな変化の波は本町にも押し寄せている。近年は、町民個々の学習ニーズも多岐にわたり、また、わが町が長年培ってきた家族や地域ぐるみの「共同体に支えられた教育基盤」も変容しつつある。

そこで、本町では、人権尊重を基本理念として、多様なライフスタイルに対応し、高齢化社会における健康と生きがいをいづくりに向け、「だれでも、いつでも、どこでも」学び、ふれあい、楽しめる社会教育の実現を目指す。

加えて、私たちの心の豊かさの源であり、郷土への誇りとなる特色ある文化遺産や地域文化の継承に努め、本町教育の基本方針である「自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり」の具現化を図った。

1 多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進

- 多様なニーズにあった生涯学習講座の情報発信や学習機会の提供・学習内容の充実
- 社会教育施設の環境整備と利用の提供
- 郷土の歴史・芸能・文化の保存・継承と文化活動の推進
- 読書活動の奨励

<p>◆公民館における 学習講座の開催</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、4講座を実施した。 なお、橘地区は、シニアクラブ連合会主催で、ことぶき大学という高齢者講座が開かれている。 																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>生涯学習講座</th> <th>開催施設</th> <th>対 象</th> <th>開催回数</th> <th>延受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>悠遊教室</td> <td>久賀公民館</td> <td>町 民</td> <td>8 回</td> <td>82 人</td> </tr> <tr> <td>はつらつ講座</td> <td>大島公民館</td> <td>町 民</td> <td>4 回</td> <td>217 人</td> </tr> <tr> <td>かがやき塾</td> <td>東和総合センター</td> <td>町 民</td> <td>6 回</td> <td>259 人</td> </tr> <tr> <td>おれんじ倶楽部</td> <td>橘公民館</td> <td>町 民</td> <td>6 回</td> <td>85 人</td> </tr> </tbody> </table>	生涯学習講座	開催施設	対 象	開催回数	延受講者数	悠遊教室	久賀公民館	町 民	8 回	82 人	はつらつ講座	大島公民館	町 民	4 回	217 人	かがやき塾	東和総合センター	町 民	6 回	259 人	おれんじ倶楽部	橘公民館	町 民	6 回
生涯学習講座	開催施設	対 象	開催回数	延受講者数																					
悠遊教室	久賀公民館	町 民	8 回	82 人																					
はつらつ講座	大島公民館	町 民	4 回	217 人																					
かがやき塾	東和総合センター	町 民	6 回	259 人																					
おれんじ倶楽部	橘公民館	町 民	6 回	85 人																					
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座 高齢化の進展した本町にとって、高齢者に対する学習機会の提供を続けることは大切だが、青壮年層からの参加も考慮した講座づくりも必要となっている。 また、高齢化に伴い送迎の需要が高まっているが、コロナ禍において3密を避けるため乗員数を制限して運行している。この場合、運送効率が低下することから、人員の面やコストの面からの課題がある。 学習者のニーズや今日的課題を盛り込んだ学習内容を進めて行くと共に、各地区で開催されている講座を受講者が気軽に受講できるよう、施設間の情報連携を図ること。 																								

<p>◆町民の自主的活 動の支援</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や教養を高めたり健康づくり等の学習をする 111 の自主学習グループが、公民館等を利用し活動した。これらのグループの活動に対し、活動状況を取りまとめた紹介チラシを作成し、全戸配布により活動の紹介と参加募集を支援した。また、公民館等の使用料(冷暖房費を除く)を免除して、運営を支援した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習方法や内容に対する相談体制の整備、適切な学習情報の提供、学習成果を生かせる場やグループ相互の交流の場を提供しているが、より多くの住民に自ら学ぼうとする意欲を高めていただくこと。 また、アフターコロナにおいて、団体の組織運営の中心となる人物の後継者問題や一度活動を休止したことによる意識問題など、以前の活動に戻るための課題がある。 																					
<p>◆学習情報の発信</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の生涯学習講座は、年度初めに講座内容を紹介したチラシの全戸配布をはじめ、町広報、ホームページへ掲載し募集した。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関する情報提供誌の発行等の方法を検討し、生涯学習の普及・啓発に取り組むこと。 																					
<p>◆学習成果の発表 機会の提供</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の日頃の学習成果の発表の機会として、コロナ禍ではあるが、作品展示を中心にコロナ対策をしつつ各地域で、文化祭、展示会、生涯学習発表大会等を開催した。 <table border="1" data-bbox="488 1323 1473 1800"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>会場</th> <th>開催月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化作品展</td> <td>久賀総合センター</td> <td>10/25～12/6</td> </tr> <tr> <td>ふれあいコンサート in くか</td> <td>久賀総合センター</td> <td>11/12</td> </tr> <tr> <td>芸能文化の集い (歌と踊りの集い)</td> <td>大島文化センター</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 音楽会、作品展示、囲碁大会</td> <td>大島文化センター</td> <td>音楽会 3/4 作品 3/1～3/8 囲碁大会 2/19</td> </tr> <tr> <td>橘生涯学習発表大会 (文化芸能の部)</td> <td>橘総合センター</td> <td>11/3</td> </tr> <tr> <td>橘生涯学習発表大会 (作品展示の部)</td> <td>橘総合センター</td> <td>11/12～11/28</td> </tr> </tbody> </table> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の発表の場として各地域に根付いたイベントとなっている。今後も学習者が主体的に運営に関わる運営方法を検討するとともに、生涯学習の活動の意義を地域に発信していきたい。 	事業名	会場	開催月日	文化作品展	久賀総合センター	10/25～12/6	ふれあいコンサート in くか	久賀総合センター	11/12	芸能文化の集い (歌と踊りの集い)	大島文化センター	中止	大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 音楽会、作品展示、囲碁大会	大島文化センター	音楽会 3/4 作品 3/1～3/8 囲碁大会 2/19	橘生涯学習発表大会 (文化芸能の部)	橘総合センター	11/3	橘生涯学習発表大会 (作品展示の部)	橘総合センター	11/12～11/28
事業名	会場	開催月日																				
文化作品展	久賀総合センター	10/25～12/6																				
ふれあいコンサート in くか	久賀総合センター	11/12																				
芸能文化の集い (歌と踊りの集い)	大島文化センター	中止																				
大島ふるさと文化祭 (大島うずしおフェスタ) 音楽会、作品展示、囲碁大会	大島文化センター	音楽会 3/4 作品 3/1～3/8 囲碁大会 2/19																				
橘生涯学習発表大会 (文化芸能の部)	橘総合センター	11/3																				
橘生涯学習発表大会 (作品展示の部)	橘総合センター	11/12～11/28																				

◆社会教育施設の活用

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

・平成 27 年度に設立した社会教育施設連携協議会は、引き続き町内の社会教育施設（宮本常一記念館、八幡生涯学習のむら、日本ハワイ移民資料館、周防大島町総合体育館・陸上競技場）の施設間相互の情報交換や情報発信、所蔵資料の保存や公開へのあり方を検討する場として事業を行った。活動内容としては、会報誌「あそぶ・まなぶ・語る」38～41 号を刊行した。

【宮本常一記念館】

・島の歴史や文化、自然環境の変遷を学ぶ宮本常一記念館では、生業や生活文化に関わる展示のほか、昨年度、県有形文化財に指定された宮本常一関係資料に係る企画展「宮本常一関係資料を紐解く」を開催した。

・講演会としては、11 月と 2 月に「宮本常一旅学講座」を開催した。

・出版については『宮本常一農漁村探訪録 25 五島調査ノート』を刊行した。

・その他、動画配信「宮本常一チャンネル」の活用や、写真資料等の貸出、講演会等への講師派遣などを行った。また、大学等の研究者による資料調査についても対応をした。

【日本ハワイ移民資料館】

・日本ハワイ移民資料館は、日本とハワイ移民の歴史を基に、その資料を収集保存し、活用を図る施設として設置しており、移民に関する歴史的、文化的資料の展示等を行っている。

・大島国際交流協会（代表：川野憲生）と平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 5 年間の指定管理契約を交わしている。

・今年度末で指定管理期間が満了するため、7 月に公募をし、指定管理者の選定を行った結果、現指定管理者が引き続き行うこととなった。

【八幡生涯学習のむら】

・八幡生涯学習のむらは、拠点施設の町衆文化伝承の館、宮本常一の指導の下に収集された民俗資料を展示・保存している久賀歴史民俗資料館や諸職用具収蔵庫、陶芸の館等が設置されている町衆文化の薫る郷公園によって構成されており、各施設は生涯学習や交流の場としての役割を果たしている。

・島の生活文化研究会（代表：菊本雅喜）と平成 30 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 5 年間の指定管理契約を交わしている。

・自主事業（なむでん踊りや島のあさマルシェ、企画展「大島今昔写真」など）5 事業及び生涯学習講座（陶芸教室など）6 講座を実施した。

・今年度末で指定管理期間が満了するため、7 月に公募をし、指定管理者の選定を行った結果、島のくらしと文化研究会（代表：田川寿徳）が指定管理を行うこととなった。

【課題】

・地域資料の収集にも努めてきたが、今後はそれらの資料の整備と活用を通して、他の施設と連携した、より幅広い地域活動に取り組むこと。

・各種社会教育施設においても施設の設置目的に応じ、施設の紹介方法や事業内容を工夫し施設利用者の増加を図るとともに、施設で活動するグループや地域の人材を育成し、公民館と同様に地域の中で生涯学習を推進する重要

	<p>な役割を担う施設を目指していく。</p> <p>また、27年度に発足した社会教育施設連携協議会を中心に教育施設間の協力、学校や地域の諸団体との連携を密にしていくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに指定や登録された文化財の周知や活用方法。
<p>◆文化財の保護、保存、整備</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県指定重要文化財及び町指定文化財の巡視や点検等を実施した。 国指定文化財の巡視（毎月） 国指定天然記念物（安下庄のシナナシ） 国指定重要有形民俗文化財（久賀の石風呂） 西長寺木造阿弥陀如来坐像の防火設備点検 ・埋蔵文化財の保護 <p>町内には62の埋蔵文化財包蔵地が点在しており、文化財保護法により、包蔵地内の建設工事等を実施する場合、事前の手続きが必要となる。今年度、土木工事等について、計画地が包蔵地内に位置しているかの照会が複数あり、調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服部屋敷の活用 <p>町内外の有志が中心となり、建築技術の文化的価値を学ぶ講座や、機織りの技術伝承に関する取組を行っており、利用率が大幅に上がっている。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も劣化の進行した国指定重要有形民俗文化財の保存修理（定期的な燻蒸等）が必要である。 ・各地区民俗資料館の施設の老朽化に伴い、資料の保存、展示方法等について、今後の資料館の効果的で特色ある運営のあり方について、移転や集約を含めて検討していくこと。 ・町内の貴重な文化財を広く町民に普及・啓発し、文化財保護への関心と理解を深め、ふるさとの伝統文化を大切にする心の醸成を図ること。 ・新たに指定や登録された文化財の周知や活用方法。
<p>◆文化団体等の育成支援</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>（周防大島町文化振興会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種文化事業を推進することにより、町民の文化に対する意識を高め、もって心豊かな地域づくりに寄与するため、講演会等を開催した。 ・郡内校歌保存事業 通年 ・西明神宗光神舞調査 ・お大師様講演会～中司茂兵衛と四国遍路道 【開催日】5/26【参加人数】74人【会場】橘総合センター ・しあわせ祈岩ライブ～答えは空にある～ 【開催日】9/10【参加人数】49人【会場】帯石観音大悲閣 ・ギター&ヴァイオリン デュオコンサート 【開催日】11/26【参加人数】54人【会場】橘総合センター ・ふれあい音楽祭 【開催日】3/12【参加人数】350人【会場】大島文化センター

	<p>(周防大島町文化振興事業補助金)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の文化団体の活動を支援するための補助金制度。1団体あたり20万円を上限とする。令和4年度は、2団体の応募があり以下の2団体を採択した。 <p>島の生活文化研究会 写真展「周防大島の海の生き物と漁撈具」 180,000円 特定非営利活動法人周防大島郷土大学 宮本常一没後40周年/宮本常一関係資料山口県文化財指定記念講座「2022年の宮本常一」 200,000円</p> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周防大島町文化振興会における人材不足が深刻化しており、今後の会の在り方について協議していく必要がある。 町内には、まだ本事業を知らない文化・芸術団体もあると思われるので、本補助金の周知徹底に努めていきたい。 																																
<p>◆町内図書館のネットワーク化の推進とサービスの向上</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸出、返却業務や資料検索の効率化を図るため、資料管理をOA化し、町内図書館の情報の共有化を図るとともに、相互貸出しや相互返却を実施した。 自宅のパソコンや町外図書館等で、インターネットを利用した図書の検索や予約等のできる図書館情報総合システムの活用推進に努めた。 <table border="1" data-bbox="555 1099 1152 1238"> <thead> <tr> <th colspan="2">図書館情報総合システムの利用状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス</td> <td>4,321,367件</td> </tr> <tr> <td>予約冊数</td> <td>8,784冊</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 来館が困難な地区や保育所(園)、小学校への移動図書館の巡回や、地域文庫への図書の貸出を行い、利便性の向上に努めた。 <table border="1" data-bbox="560 1375 1415 1680"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>貸出方法</th> <th>実施回数</th> <th>冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久賀図書館</td> <td>文庫配達</td> <td>11回</td> <td>4,749冊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大島図書館</td> <td>出張所文庫</td> <td>2回</td> <td>940冊</td> </tr> <tr> <td>巡回図書</td> <td>42回</td> <td>844冊</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">東和図書館</td> <td>地域文庫8か所</td> <td>3回</td> <td>1,800冊</td> </tr> <tr> <td>巡回図書</td> <td>10回</td> <td>1,130冊</td> </tr> <tr> <td>橘図書館</td> <td>巡回図書</td> <td>90回</td> <td>3,075冊</td> </tr> </tbody> </table> <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報内容の充実を図り、システムの利用促進を図る必要がある。 町民が気軽に訪れることができる図書館をめざし、町民からの要望に応じて、不明な事柄について共に調べたり、学習方法、学習情報の相談に応じたりするレファレンスサービスの周知に取り組むこと。 	図書館情報総合システムの利用状況		アクセス	4,321,367件	予約冊数	8,784冊	図書館名	貸出方法	実施回数	冊数	久賀図書館	文庫配達	11回	4,749冊	大島図書館	出張所文庫	2回	940冊	巡回図書	42回	844冊	東和図書館	地域文庫8か所	3回	1,800冊	巡回図書	10回	1,130冊	橘図書館	巡回図書	90回	3,075冊
図書館情報総合システムの利用状況																																	
アクセス	4,321,367件																																
予約冊数	8,784冊																																
図書館名	貸出方法	実施回数	冊数																														
久賀図書館	文庫配達	11回	4,749冊																														
大島図書館	出張所文庫	2回	940冊																														
	巡回図書	42回	844冊																														
東和図書館	地域文庫8か所	3回	1,800冊																														
	巡回図書	10回	1,130冊																														
橘図書館	巡回図書	90回	3,075冊																														

◆町民のニーズに対応した情報収集、資料の整備

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

- ・蔵書資料は、前年度に比べ図書は1,532冊増加し、208,063冊となった。
- ・AV資料は、5点増加し、2,012点となった。

蔵書資料

図書館名	一般図書	児童図書	郷土資料	AV資料
久賀図書館	38,591冊	20,837冊	3,533冊	—
大島図書館	31,784冊	13,465冊	2,314冊	1,215点
東和図書館	27,283冊	15,804冊	2,632冊	408点
橘図書館	33,527冊	15,859冊	2,434冊	389点
計	131,185冊	65,965冊	10,913冊	2,012点

利用状況

図書館名	延利用者数	貸出冊数
久賀図書館	6,478人	16,615冊
大島図書館	8,090人	22,471冊
東和図書館	5,647人	12,027冊
橘図書館	9,118人	17,834冊
計	29,333人	68,947冊

- ・毎月新刊案内を発行した。
- ・全館合計の延利用者数は、前年度に比べ3,814人増加し、貸出冊数も4,921冊増加した。

【課題】

- ・インターネット利用の利便性を周知し、利用者登録の促進を検討するなどして、希望する資料を手に取りやすい図書館づくりに取り組むこと。

◆高齢者、児童、幼児を対象とした読み聞かせ会の実施

【総合評価】
新型コロナウイルスの影響により評価できない

【成果】

- ・読書習慣の形成を図るため、幼児、児童、高齢者等を対象にしたお話し会や読み聞かせ会等を実施した。

図書館名	事業名	実施回数	延参加者数
久賀図書館	おはなし会	2回	70人
大島図書館	おはなし会	1回	17人
	出前読み聞かせ	3回	103人
	図書館まつり	1回	220人
東和図書館	図書館まつり	1回	70人
橘図書館	おはなし会	12回	106人
	読み聞かせ	94回	913人
	音訳ボランティア	12回	72人
	図書館まつり	1回	140人

【課題】

- ・読み聞かせで実績のある図書館ボランティアの効果的手法を、各図書館の事業展開に積極的に生かし、町全体で読書に親しむ環境づくりを推進していくこと。

2 地域教育力活性化の推進

- 地域ぐるみで子どもの育ちを支援する「地域協育ネット」の推進
- 家庭の教育力を高める学習機会の充実・相談支援体制の整備
- 青少年の健全育成に関わる情報の提供、相談体制の整備
- 社会教育団体の育成支援

<p>◆学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業の推進</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内全小中学校 11 校を拠点とした、学校支援地域本部事業（地域学校協働活動事業）を実施し、地域の人材・施設・環境を最大限に活用し、学校と地域が協働しながら、子どもにとって魅力のある教育活動を推進した。 さらに、町内の中学校区を単位とした地域協育ネット協議会を推進するために、関係者による研修会等を開催し、学校と地域のつながりを深めるとともに、学校教育活動への理解を深めた。 ・家庭教育支援チームによる活動では、9つの小学校、6会場の就学時健康診断や一日入学で子育て講座を開催し、家庭の教育力を高める学習機会を提供した。また、親子参加型行事である「ミモザの会」をコロナ禍ではあるが11回開催し、異世代の交流を図りながら家庭教育支援を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の取組を進めていく上で、地域関係者の更なる理解協力と学校関係者の負担軽減、子どもたちの地域への誇りや愛着が深まるために、どのような取組を行っていくか考えていくこと。 <p>【目標】 地域・郷土愛に関するアンケートの肯定的な回答割合 R4 30% → R5 40%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームの取組が、町内全域に広がっていないため、家庭教育支援チームの更なる周知をどのように進めていくか、関係他課や団体とどのように連携していくか考えていくこと。 									
<p>◆放課後子ども教室推進事業の拡充</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖浦っ子クラブ（沖浦小学校1・2年生児童対象）、なぎさクラブ（城山小学校・森野小学校・島中小学校・浮島小学校・安下庄小学校児童対象）の各クラブで、子どもたちの安心・安全な居場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して、地域の方と子どもたちとのふれあいが深まるとともに、児童の主体性を高めたり豊かな人間性を育んだりすることにつながった。 <table border="1" data-bbox="488 1648 1382 1778"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>開催回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なぎさクラブ</td> <td>13回</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>沖浦っ子クラブ</td> <td>132回</td> <td>459人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象外の小学校区をどのようにしていくか、また、なぎさクラブの対象校区の拡大に伴い、増加した参加者の対応のために指導者をどのように確保していくかという点で課題があるため、その対応策を考えていくこと。 	教室名	開催回数	延べ参加者数	なぎさクラブ	13回	160人	沖浦っ子クラブ	132回	459人
教室名	開催回数	延べ参加者数								
なぎさクラブ	13回	160人								
沖浦っ子クラブ	132回	459人								

<p>◆青少年育成町民会議の活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成町民会議の活動を支援するために、補助金の交付、総会・役員会・情報交換会の開催、環境浄化活動・「家族の日」普及に関する活動（「家族の絆」標語）を実施し、活動の充実を図った。 ・周防大島町青少年育成町民会議の開催 町全体総会及び各地区（久賀・大島・東和・橘）の役員会を開催 ※久賀・大島・東和地区の役員会については書面開催 ・こども環境クリーンアップ活動の実施 （久賀地区・大島地区の図書取扱店で有害図書類等区分陳列を確認した。） ・「家族の絆」標語募集・審査・啓発（入賞作品表彰、クリアーホルダー作成・配付） ・図書館まつり（大島・東和・橘地区）の支援 ・どんど焼きの開催・支援（久賀地区・橘地区） ・花の苗、鉢等の配付（久賀地区・大島地区・東和地区） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校統合により、子どもたちの姿が少なくなった地域もあり、青少年健全育成のための活動の見直しが必要になってきていること。
<p>◆子ども会等の活動の充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の活動を支援するために、補助金の交付、研修会の案内、情報交換会を開催した。 ・周防大島町子ども会育成連絡協議会の開催 （各地区で子ども会会長集会を開催） ・県子ども会連絡協議会総会・指導者研修会 ・奉仕活動、清掃活動等の開催 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修会への積極的な参加を促すことで、子ども会の意義や指導者の役割等について理解を図ること。
<p>◆体験活動の実施</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周防大島少年の船洋上セミナーの実施 真夏における活動で健康管理について長年の課題となっていた同事業を、ゆとりを確保するなど日程の見直しを行い、日帰りコースとしてリニューアルし実施した。同事業のコンセプトは、海に恵まれた本町であるが海から見ることは少ないことから、大島商船高等専門学校練習船「大島丸」を利用し、小学校6年生を対象に洋上から見る周防大島体験（ふるさと再発見）や海にまつわる体験学習の実施。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が船上であることから、3密を避けるなどの対策を検討する必要がある。また、天候に影響されやすいなどの課題がある。

<p>◆二十歳の集いの開催</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>日 時 令和5年1月4日（水） 場 所 山口県大島防災センター 対象者 108人</p> <p>・全国的に新型コロナウイルスが感染拡大し、また、町内においても感染者が確認されたため、式の時間短縮など行い開催した。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>・式典の時間的制約の中において、ふるさとをテーマにした効果的で実りある企画を今後も検討すること。</p>
---	---

3 人権教育の推進

- 「山口県人権推進指針」の周知と人権意識の高揚
- 指導者の養成による人権教育推進体制の充実
- 「周防大島町人権教育推進大会」の開催
- 各公民館における人権学習講座の開催

<p>◆人権教育推進委員会の開催</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・町の人権教育の方針や啓発事業計画についての協議、人権啓発作品の審査等を実施し、人権教育推進についての共通理解や意見交換等を行った。</p> <p>・第1回人権教育推進委員会 6/27 町人権教育重点施策、事業計画、作品募集等について</p> <p>・第2回人権教育推進委員会 10/4 人権啓発作品審査、人権教育推進大会の運営 次年度の人権教育推進大会講演講師の選定について協議</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>・各地区の人権学習講座について、委員の意見を充分に取り入れられていないので、講師選定や啓発活動内容についても、人権教育推進委員会の協議内容に取り上げ、人権教育推進の充実を図っていくこと。</p>
<p>◆相談等の支援体制の整備・充実</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <p>・人権に関わる相談については町福祉課と連携し、山口県人権対策室や山口県教育庁人権教育課の指導のもと、支援を行っている。また、相談窓口として、内容に応じて山口地方法務局・やまぐち総合教育支援センター等の関係機関を紹介し、町広報紙においては、人権相談開設日（毎月1回）を周知している。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>・人権に関わる相談については町福祉課の対応となるが、ほとんど相談がないというのが現状である。広報紙以外にどのような方法で住民に周知するかが課題である。</p>

<p>◆人権教育推進大会の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の人権意識の高揚を図るために、年1回各地区持ち回りで人権教育推進大会を実施している。今年度は、久賀地区において新型コロナウイルスの感染症対策を講じ実施した。内容については、人権教育推進委員会で検討し町民の実態にあったものを実施した。また、参加者一人一人の人権意識の高揚を図った。 ・令和4年度人権教育推進大会 1/27（山口県大島防災センター） 講 演 「児童虐待とは何か～これからの家庭教育支援の地域の取組について～」 講 師 田中理絵（西南学院大学教授） <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、コロナ禍での開催であることから人数制限や事前申込とし、一般申込者と関係委員、学校、町職員を対象とした限定的な開催という形式にしていたが、今後はアフターコロナに向け、より多くの方へ周知ができるようにすること。 ・オンライン開催の場合、受講者の把握が困難である。また、アンケート調査において GoogleForms を活用したが、紙による提出が占める割合も多い。
<p>◆公民館学級・講座における学習会の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の人権学習講座を町内4地区で実施し、町民の人権意識の高揚を図った。 ・久賀地区人権学習講座（9/30 久賀総合センター） 参加者 19人 講演「誰もが、みんな幸せに生きていくためには〈様々な2つ〉をもとに考えてみましょう」 ・大島地区人権学習講座（11/22 大島文化センター） 参加者 50人 講演「『片想いの記』に思う～ひびき合いの中から～」 ・東和地区人権学習講座（11/7 東和総合センター） 参加者 48人 講演「歩（あゆみ）と生きる」 ・橘地区人権学習講座（11/18 橘総合センター） 参加者 31人 講演「地域のつながりと身のまわりの人権尊重」 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者のニーズ（要求課題）や本町の必要課題に応じたテーマで講座を開催しているが、地区によって参加者数に差がある。今後は、地区を越えた参加者の呼びかけや、保護司や民生委員児童委員、母子保健推進委員等へも呼びかけていくこと。
<p>◆人権に関する児童生徒の応募入選作品の表彰・発表</p> <p>【総合評価】 計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小・中学校児童生徒、周防大島高等学校生徒、大島商船高等専門学校学生（1～3年）を対象に、人権啓発作品として標語、作文、詩、ポスターの募集を行い12校から340点の応募があった。また、人権教育推進大会会場において入賞作品の発表展示等、人権尊重の精神を育むための啓発活動を行い、明るく幸せな町づくりを推進した。

	<p>・人権啓発作品募集 小学校5・6年生…標語、作文 中学生…標語、作文、詩、ポスター 高校生…標語</p> <hr/> <p>【課題】 ・詩や作文の部の応募者が少ないため、児童・生徒一人一人が人権について考えるきっかけをつくるために、募集の目的の積極的な周知を図っていくこと。</p>
<p>◆人権教育研修会の実施</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】 ・例年、人権教育推進委員、社会教育委員、人権擁護委員、人権施策推進協議会委員、町小・中学校教職員、町職員の合同研修会を実施し、「山口県人権推進指針」の周知や人権教育に関わる様々な立場の方の資質向上を図っている。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として町内4公民館、学校、自宅など、分散してオンライン研修を行った。 ・周防大島町人権教育研修会 8/8 オンライン 講演 「スマホ・SNS・オンラインゲームのトラブルの現状と予防法」 講師 岡本浩司 (山口県金融広報アドバイザー)</p> <hr/> <p>【課題】 ・職務があることから職員全員が参加することは困難なため、山口県人権推進指針の趣旨や分野別施策の理解を人権教育に携わる一人一人に深められるよう、定期的な研修会の参加や職場等での復伝をする仕組みを作ること。</p>
<p>◆人権教育推進委員研修会の開催と積極的な参加</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】 ・例年、人権教育推進委員の資質向上に向けて、町主催・県主催人権教育研修会への参加の呼びかけを行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一部研修会においてはオンライン開催となった。 ・周防大島町人権教育研修会 8/8 オンライン ・学校・地域人権教育推進指導者研修会 9/16 オンライン ・山口県人権教育研修会 10/13 オンライン</p> <hr/> <p>【課題】 ・県主催研修会の参加者が少ないため、指導者育成のためにも地元で開催される講演会や研修会への参加を積極的に呼びかけていくこと。 ・オンライン開催の場合、受講者の把握が困難である。また、アンケート調査において GoogleForms を活用したが、紙による提出が占める割合も多い。</p>

4 スポーツの振興

- 生涯スポーツの普及や地域スポーツの充実
- 各種指導員の養成・確保及び研修会の充実
- スポーツ施設の機能向上と利用促進

- 学校体育施設開放の促進及び効果的な活用
- 総合型地域スポーツクラブの育成

◆生涯スポーツの普及

【総合評価】
概ね計画どおり

【成果】

例年、身近な地域のスポーツ大会から町内全域、そして広く町外、県外を対象とした大会まで、また、内容も親睦を図るものから競技性の高いものまで幅広く実施しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、一部のスポーツ大会は中止した。

・身近な地域におけるスポーツ大会

例年、地域の特色を生かし、住民のニーズに応じた内容で実施しているが、新型コロナウイルス感染症対策のため久賀地区の職域ソフトボール大会及びシニア卓球大会、大島地区の水泳教室、東和地区の水泳教室及びグラウンドゴルフ大会、橘地区の剣道大会のみの開催となった。

地区名	大会名
久賀地区	職域ソフトボール大会(2回)、グラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ大会、シニア卓球大会外
大島地区	屋代湖駅伝、大島地区対抗球技大会、B & G オープンバレーボール大会、カヌー教室、プールでOP ヨット体験会、大島元気っ子水泳教室外
東和地区	グラウンドゴルフ大会、水泳教室(夏季のみ)、球技大会外
橘地区	春季・秋季親睦球技大会(ソフトボール・ソフトバレーボール)、剣道大会外

・町内全域を対象としたスポーツ大会

各地域のチームや選手が参加し、親睦又は交流を図るとともに技術の向上を図っている。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一部のスポーツ大会について中止した。

大会名	開催月日	参加者数
郡壮年軟式野球大会	中止	—
郡グラウンドゴルフ大会	5/31	57人
郡卓球大会	中止	—
郡バレーボール大会	中止	—
郡ソフトボール大会	6/19	3チーム 56人
郡スポーツ少年団交歓大会 (バレーボール)	中止	—

郡スポーツ少年団交歓大会 (ソフトボール)	7/23	3チーム 42人
郡陸上競技大会	6/26	253人
近郷ソフトテニス大会	中止	—
郡水泳大会	中止	—
サザンセット大島オレンジカップ	10/2	16チーム 220人
大島カップ大会 (郡ゴルフ大会)	中止	—
郡武道大会	11/20	23人

・スポーツを通じて町内、県内外との交流を深める大会

町内の参加者だけでなく県内外へ参加を呼びかけ、スポーツを通じて人的交流を促進し人と人とのつながりを深めている。昨年度まではコロナ禍ということもあり中止が相次いだが、今年度は新型コロナウイルスの感染症対策を行い、4大スポーツ大会全て開催した。

大会名	開催月日	参加者数
サザンレク片添ビーチバレー大会	7/3	27チーム 60人
近県ソフトテニス大会	10/30	52ペア 104人
大島一周駅伝競走大会	12/18	42チーム
サザンセット大島 周防大島町長杯 高校サッカーフェスティバル	1/7-9	10チーム 331人
サザンセット大島ロードレース大会	2/5	1,765人
大島郡フットサル大会	2/25-26	43チーム 297人
サザンセット大島少年サッカー大会	3/25-26	32チーム

	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域におけるスポーツ大会 長年にわたり地域に支持され開催されてきたスポーツ大会は、スポーツの普及に大きな役割を果たしてきた。高齢化が進む中、地域の特性に応じた内容や大会運営の方法等を検討すること。 ・町内全域を対象としたスポーツ大会 児童から高齢者を対象とした幅広い年齢層に対応したスポーツ大会を実施し、親睦や各種目の競技力向上について貢献してきた。今後も、競技内容や運営方法を検討し、より質の高い大会をめざすとともに参加者が主体的、自主的に運営に関われるよう検討すること。 ・スポーツを通じて町内、県内外との交流を深める大会 本町に定着した大会となっているが、一部の大会において、参加者が減少傾向にある。また、運営役員の確保が困難な状況も生じている。それぞれの内容や運営方法を検討し、なお一層のスポーツを通じた県内外の交流人口の増加に努めること。 また、宿泊を伴う観光も含めた一体的なスポーツ大会を開催するため、観光担当課と協議を行うこと。 ・だれでも、いつでも、どこでもできる生涯スポーツの普及 あらゆるスポーツを通じて生涯スポーツの普及については、一定の成果を収めている。さらに、より多くの町民の親睦、健康と生きがいを支援するため、年齢・性別等を問わず誰でも手軽に楽しめる生涯スポーツの普及を図ること。
<p>◆スポーツ団体及び総合型地域スポーツクラブの育成支援</p> <p>【総合評価】 全般にわたり要検討</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種目別スポーツ団体 競技種目ごとのスポーツ団体（クラブ）は、社会教育施設や学校施設を利用し、定期的に活動している。また、大会を独自に企画・運営している団体もある。 ・総合型地域スポーツクラブ 活動していた1クラブが、令和3年度末で解散した。また以前より1クラブ設立の動きがあるが、より一層必要性が増してきた。 <hr/> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの新たな設立を目指して、先進的なスポーツ団体（クラブ）の活動の紹介や、スポーツに関する情報を提供する等育成スポーツ団体（クラブ）の活動支援と併せて、活動のキーマンとなる人材の発掘・育成・確保が課題である。また、解散理由の一つに後継者問題もさることながら、運営体制がボランティア活動となっていたことから、長期的な自主財源の確保だけでなく経済的な支援を含めた検討の必要性があると思われる。これに加え、新たな設立を目指している団体が、学校部活動の地域移行の受け皿となるかの検討を行う必要性がある。
<p>◆スポーツ推進委員の養成と研修機会の充実</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、各地域のスポーツ少年団やシニア層のスポーツサークル等の実技指導を行うとともに、スポーツクラブの育成と活動の支援や、スポーツイベントの補助など、支えるスポーツの観点からの活動をしてい

<p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員連絡協議会を組織し、情報交換や研修会の実施、県主催の指導者研修会等に参加し、資質の向上を図っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の役割であるスポーツの実技指導等のほか、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整が追加され、推進委員の役割が多様化している。 ・スポーツ推進委員の研修機会の充実を図り、資質向上に努めるとともに、推進委員の世代交代がスムーズに行われるよう、地域の有能な人材を発掘養成をすること。
<p>◆特色を生かした社会体育施設の積極的な活用</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、海洋レクリエーション活動を軸に、自然体験活動等を行う B&G 海洋センターは、カヌー・ヨット教室、大島元気っ子水泳教室等を実施し、青少年の健全育成や町民の健康づくりを支援している。今年度は台風接近に伴い B&G マリンフェスティバル及びオープンバレーボール大会を中止した。 ・総合体育館や陸上競技場は、平成 25 年度から指定管理制度を導入しており、指定管理者による自主運営事業の実施や、本町におけるスポーツの拠点施設として、町内全域を対象としたスポーツ大会や、町外との交流を深めるスポーツイベント等に利用されている。交流人口の拡大に貢献するとともに、町民に利用しやすい生涯スポーツの場の環境づくりに努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各体育施設の設備充実とともに、より多くの町民が生涯にわたってスポーツに親しめるようさらに環境の整備が必要である。 ・今後、老朽化した施設や利用が少なくなったグラウンド等の維持管理について、検討が必要と思われる。
<p>◆学校体育施設等の開放促進と積極的な活用</p> <p>【総合評価】 概ね計画どおり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校が、放課後や夜間・休日に学校体育館や運動場等を開放して、スポーツ少年団の練習場所や地域住民のスポーツ・レクリエーションの場となっており、生涯スポーツの振興や地域住民の交流が図られている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設の地域への開放は、地域のスポーツ環境の整備に欠かせない手法である。今後も、備品や設備等を計画的に整備・充実させ、生涯スポーツ活動の場として、有効活用を図ること。

総務

【総務課】

1 森野小学校と城山小学校の統合に向けた対応

(1) 小学校統合準備委員会

当会は、関係2小学校の教職員、育友会関係者、学校運営協議会会長等で構成され、詳細事項の調整については、委員会内に設けた総務部会及び教育部会において検討及び調査を行い決定した。

(2) 統合小学校の開校に向けた対応

年 度	準備対応内容	総合評価
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・周防大島町立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の一部改正議案議決（統合小学校の名称（東和小学校）議案） ・旧東和中学校既存校舎改修工事（工期7か月） ・校章、制服等の選定 ・校歌、校旗作成 ・森野小学校、城山小学校閉校式 	計画どおり

(3) 旧東和中学校既存校舎改修事業

令和5年4月の東和小学校の開校に向け、美術教室・美術準備室を普通教室2室に改修する建築工事、特別教室を含む全教室に空調換気設備を設置する機械電気設備工事等を実施し、小学校統合のための全ての改修工事を完了した。

事業名		事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
1	旧東和中学校既存校舎改修工事（建築）	小学校統合に向け児童の教育環境の改善を図るため、文部科学省の補助金を活用して旧東和中学校の校舎を改修する工事を行った。	美術教室・美術準備室を普通教室2室に改修し、グラウンド整備や遊具を設置する外構工事等を行った。	37,648,600円	計画どおり（令和5年3月完成）
2	旧東和中学校既存校舎改修工事（機械設備）		特別教室を含む全教室に空調換気設備を設置し、校舎内に情報通信ネットワーク設備を整備した。	26,998,400円	
3	旧東和中学校既存校舎改修工事（電気設備）			27,538,500円	

2 学校施設等の整備・拡充

安心・安全な学校づくりや快適な学校施設を提供し、学校内における環境整備の向上を図るため、令和4年度に実施した主な事業

事業名		事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
1	安下庄小学校空調設置工事	普通教室棟の空調設備が老朽化により故障し使用に支障があるため、既存ダクト方式の全館空調は取りやめ、10室に個別空調を設置した。	普通教室6室・児童クラブ室・特別教室3室に個別空調を設置し、教室内の衛生環境を改善した。	46,377,100円	計画どおり (令和5年3月完成)
2	沖浦小学校バリアフリー改修工事	令和5年度に肢体不自由な児童が入学するため、校舎内のバリアフリー化を図った。	車いす用トイレブース、手すり付き屋外スロープ及び段差解消プレートを新設した。	3,080,000円	計画どおり (令和5年3月完成)
3	久賀小学校普通教室床張替修理(6年教室)	学校教育環境の向上や不良箇所の改修等、児童生徒が安心して快適な学校生活を送るため、各学校において営繕工事を行った。	老朽化した普通教室の床の張替えを行った。	1,298,000円	計画どおり (令和4年8月完成)
4	明新小学校生徒棟1F防火扉枠修繕		防火扉が正常に閉まらないため枠を修繕した。	979,000円	計画どおり (令和5年3月完成)
5	島中小学校キュービクル改修		キュービクル内の真空遮断器を交換した。	913,000円	計画どおり (令和4年7月完成)
6	大島中学校屋内運動場南側屋根雨漏り修繕		屋根防水が劣化し雨漏りするため修繕した。	1,260,600円	計画どおり (令和5年1月完成)
7	大島中学校グラウンド整備工事		グラウンドの真砂土が流出し陥没するため整備工事を行った。	2,574,000円	計画どおり (令和5年3月完成)

3 周防大島町語学留学生派遣事業

山口大学国際総合科学部、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジと連携し、町内在住の高校生及び高専生を対象にハワイ州カウアイ島への語学留学の募集を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑み、受入先と協議し事業中止を決定した。

事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
周防大島町と姉妹島提携を結び交流を深めているカウアイ島のハワイ大学カウアイコミュニティカレッジを拠点に、包括的連携協力協定を締結する山口大学の支援を受けた短期留学を行い、語学力の向上はもとより、体験型学習等を通じ、異文化を理解し行動できる次世代の人材育成を図ることを目的とする。	町内在住の高校生及び高専生を対象に、令和4年8月8日から8月21日の日程で語学留学の募集を令和4年4月1日から開始したが、6月13日に事業中止を決定した。	0円	新型コロナウイルスの影響により評価できない

4 新型コロナウイルスへの対応

各小中学校に加湿空気清浄機、小学校3校、中学校2校にサーマルカメラを購入、町内5校の使用頻度が高い特別教室や保健室に空調設備を設置、各小中学校の屋内水道蛇口ハンドルをレバー式に交換、令和4年10月から令和5年3月までの学校給食費を無償化及び感染症予防として教育委員会事務局・各小中学校へ消毒液・ハンドソープ等の必要物品を購入した。

事業概要	事業の取組と成果	事業決算額	総合評価
教育委員会総務課及び各小中学校において、アルコール消毒液、ハンドソープ、空気清浄機等を購入した。	空気清浄器10台、サーマルカメラ5台等を購入し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図った。	2,910,773円	計画どおり
久賀、三蒲、明新、沖浦小学校、大島中学校の5校の使用頻度の高い特別教室や保健室に空調設備を設置した。	空調を設置する事で、室内温度を保ちつつ、一部の窓を開け喚起を行う事を可能とし、密閉空間になる事を防ぎ教室内の衛生環境を改善することで新型コロナウイルス感染拡大防止を図った。	54,061,700円	計画どおり (令和5年3月完成)

<p>学校での新型コロナ等感染症のリスクを軽減するため、町内小中学校の屋内水道蛇口ハンドルを手回し式からレバー式に交換した。</p>	<p>手回し式からレバー式に交換する事により、ウイルスの接触機会を減らし新型コロナ等感染拡大防止を図った。</p>	<p>3,315,906 円</p>	<p>計画どおり (令和5年 月完成)</p>
<p>令和4年10月から3月までの学校給食費を無償化し、給食単価増加分を補填した。</p>	<p>コロナ禍における物価高騰等に直面している子育て世代への支援として、小中学校の給食費を無償化や給食単価増加分にかかる費用を補填することにより、保護者の経済的負担を軽減した。</p>	<p>16,566,260 円</p>	<p>計画どおり</p>